

2025年6月発行

関西大学大学院
博士課程前期課程
博士課程後期課程

入学試験問題集

社会安全研究科

関西大学大学院

目 次

2025年度

博士課程前期課程

一 般 入 学 試 験

〔専門科目〕 2

外国人留学生入学試験

〔専門科目〕 6

※出願のあった入試種別・科目のみ掲載しています。(欠席・免除等により受験のなかった科目を除きます。)

著作権の都合上、掲載していない入学試験問題については、窓口にて閲覧することができます。詳細は、関西大学大学院入試情報サイトでご確認ください。

2025年度

M

試 験 問 題

一般入試	博士課程前期課程	社会安全研究科	防災・減災専攻
------	----------	---------	---------

(10 月入試)

科 目	専門科目①
-----	-------

1. 下図は商用航空機のフライト数、機体損傷事故件数および死亡事故件数の年次推移を示している。以下の問いに答えなさい。
 - 1-1. 図より航空機事故の特徴として読み取れる内容を述べなさい。
 - 1-2. 図のフライト数と機体損傷事故件数に基づき、百万フライトあたりの機体損傷事故件数の年次推移の全体的傾向を述べなさい。
 - 1-3. 1-1, 1-2 での回答に基づいて、航空機の安全に関する変遷について述べなさい。
 - 1-4. 航空機をはじめとする工業機器の安全において事故調査の意義と目的を述べなさい。

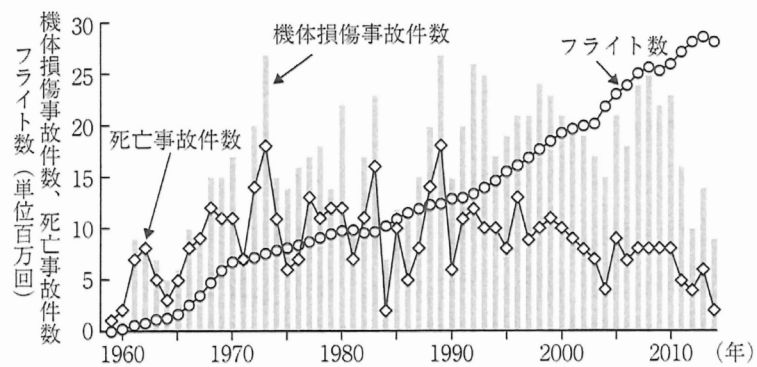


図 航空機事故の推移

(以 上)

M

試 験 問 題

(10 月入試)

一般入試	博士課程前期課程	社会安全研究科	防災・減災専攻
------	----------	---------	---------

科 目	専門科目②
-----	-------

演習テーマ： 総合防災・減災学

2024 年 1 月 1 日午後 4 時 10 分、石川県能登地方において深さ約 15km、マグニチュード(M)7.6 の地震が発生し、石川県輪島市では震度 7、石川県珠洲市においては津波遡上高約 5m の津波が観測された。本災害による死者数は、石川県の報告によれば、2024 年 9 月 10 日時点で、地震および津波による 227 名の直接死と、避難生活の影響による 131 名の関連死を合わせ、358 名に達している。以下のキーワードを用い、(1) 本災害における津波避難の困難性、(2) 災害関連死拡大の要因、(3) これらを踏まえた南海トラフ巨大地震への備えについて論ぜよ。

キーワード：直感判断型住民、論理判断型住民、自宅、高齢者施設、避難所、長期停電、交通アクセス、高齢化率

(以 上)

M

試 験 問 題

一般入試	博士課程前期課程	社会安全研究科	防災・減災専攻
------	----------	---------	---------

(10 月入試)

科 目	専門科目②
-----	-------

演習テーマ： ヒューマンエラー論

【1】以下の【設問 1-1～1-3】は、労働災害の発生状況を評価する「度数率」「強度率」「年千人率」について説明する式である。①～⑨にもっとも当てはまる語句または数値を【A】より選択し、() 内に記入しなさい。ただし、同じ語句または数値を、複数回選択することができる。

- * 「度数率」とは、100 万延べ労働時間当たりの労働災害による死傷者数をもって、労働災害の頻度を表す。
- * 「強度率」とは、1,000 延べ実労働時間当たりの延べ労働損失日数をもって、災害の重さの程度を表す。
- * 「年千人率」は、1 年間の労働者 1,000 人あたりに発生した死傷者数の割合を示す。

【設問 1-1】 _____

$$\text{度数率} = \frac{\text{① ()}}{\text{② ()}} \times \text{③ ()}$$

【設問 1-2】 _____

$$\text{強度率} = \frac{\text{④ ()}}{\text{⑤ ()}} \times \text{⑥ ()}$$

【設問 1-3】 _____

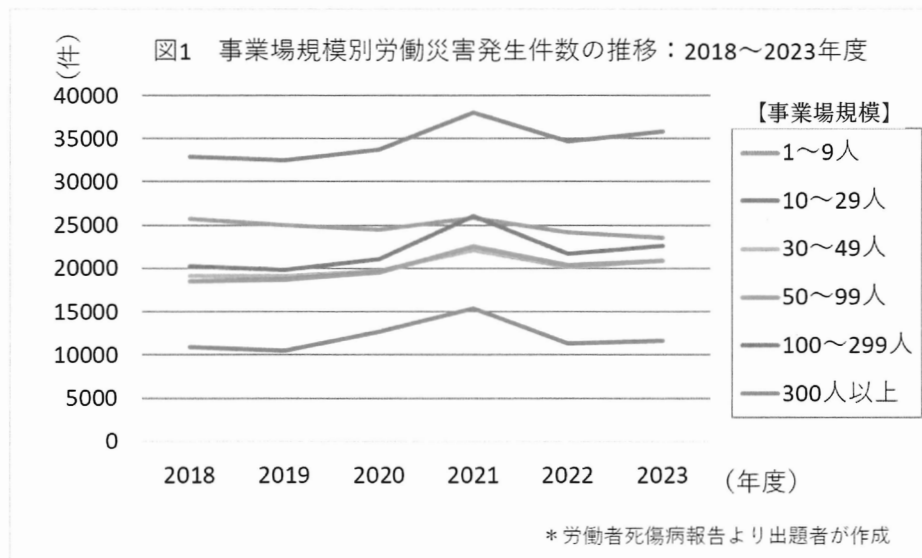
$$\text{年千人率} = \frac{\text{⑦ ()}}{\text{⑧ ()}} \times \text{⑨ ()}$$

【A】 _____

- ・ 1 年間の死傷者数
- ・ 1 年間の死者数
- ・ 1 年間の負傷者数
- ・ 延べ実労働時間数
- ・ 延べ労働損失日数
- ・ 1 年間の平均労働者数
- ・ 1 年間の延べ労働者数
- ・ 労働災害による死傷者数
- ・ 労働災害による死者数
- ・ 労働災害による負傷者数
- ・ 10
- ・ 100
- ・ 1,000
- ・ 1 万
- ・ 10 万
- ・ 100 万

(参考：厚生労働省「職場のあんぜんサイト」)

【2】図 1 は、2018 年度から 2023 年度にかけて、日本国内で発生した労働災害発生件数を事業場規模別に示したものである。



【設問 2－1】労働災害発生件数と事業場規模との関係について、図 1 に基づいて説明しなさい。

【設問 2－2】【B】に示される語句を出来るだけ用いて、事業場規模に応じた災害防止対策に関する課題について論じなさい。

【B】

・ヒューマンエラー ・安全管理 ・組織 ・作業内容 ・作業環境 ・安全文化 ・中小企業
 ・不安全行動 ・不安全状態 ・安全リテラシー ・国際比較 ・行動規範 ・ヒューマンファクター

(以 上)

M

試 験 問 題

外国人留学生入試

博士課程前期課程

社会安全研究科

防災・減災専攻

(10 月入試)

科 目

専門科目①

1. 下図は商用航空機のフライト数、機体損傷事故件数および死亡事故件数の年次推移を示している。以下の問いに答えなさい。
 - 1-1. 図より航空機事故の特徴として読み取れる内容を述べなさい。
 - 1-2. 図のフライト数と機体損傷事故件数に基づき、百万フライトあたりの機体損傷事故件数の年次推移の全体的傾向を述べなさい。
 - 1-3. 1-1, 1-2 での回答に基づいて、航空機の安全に関する変遷について述べなさい。
 - 1-4. 航空機をはじめとする工業機器の安全において事故調査の意義と目的を述べなさい。

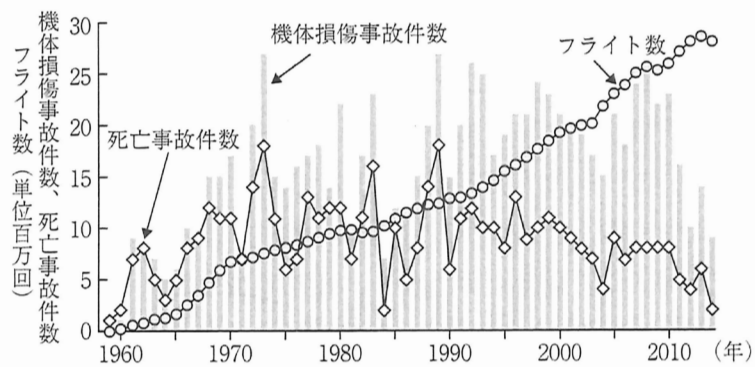


図 航空機事故の推移

(以 上)

M

試 験 問 題

(10 月入試)

外国人留学生入試	博士課程前期課程	社会安全研究科	防災・減災専攻
----------	----------	---------	---------

科 目	専門科目②
-----	-------

演習テーマ：____災害情報論____

日本社会において、災害情報をめぐって、今どのような課題があるのか、具体的な事例を複数提示しなさい。また、それらの課題は、どのような原因から生じているのか、どうすれば軽減・解消できるのか、情報学的な知見をふまえて述べなさい。

(以 上)

M

試 験 問 題

(10 月入試)

外国人留学生入試	博士課程前期課程	社会安全研究科	防災・減災専攻
----------	----------	---------	---------

科 目	専門科目②
-----	-------

演習テーマ： 防災教育論

これまでの防災教育では、知識・技術を持つものから持たざるものへと一方向に伝達する活動が中心であった。こうした一方向の防災教育の問題点を具体的に指摘した上で、その問題点を解決・解消するような防災教育について、具体例を挙げて、説明しなさい。

(以 上)

関西大学大学院

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL 06-6368-1121 (大代表)